

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	地学第二		
英文授業科目名	Atomospher Science		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-自由科目		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	酒井 彰		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sakai.a@aist.go.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
教職課程の教科「理科」に関する専門科目として、「地学」に関する分野での必要最低限の知識を修得することを目標とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
高等学校において「地学」を選択・履修していないものが多いと思われるが、高等学校で履修する程度の参考書を、あらかじめ自習しておくことが必要である。 例えば、岩波新書 - 丸山茂徳・磯崎行雄著「生命と地球の歴史」、平朝彦著「日本列島の誕生」、ブルーバックス - 鎌田浩毅著「富士火山噴火」、岩波ジュニア新書 - 諏訪兼位著「アフリカ大陸から地球がわかる」、光文社新書 - 平朝彦ほか「地球の内部で何が起きているのか？」など

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
教科書：西村祐二郎・鈴木盛久・今岡照喜・高木秀雄・金折裕司・磯崎行雄著、「基礎地球科学」、朝倉書店 参考書：地質標本館編、「地球」、誠文堂新光社；酒井治孝著、「地球科学入門」、東海大学出版会；大原隆・西田孝・木下肇編、「地球の探求」、朝倉書店のほか、地学関連の新書版などを推薦する。

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

基本的に教科書に沿って授業を進める。

第1～3回 地球の概観。地球の構造（大陸と海洋、内部構造、プレートとブルーム）

第4～6回 地殻の物質（地殻、鉱物、岩石）

第7～9回 地殻の変動と進化（火山活動、地震、造山運動、風化と侵食、運搬と堆積）

第10～12回 地球の歴史（地質年代と地質年代尺度、生物の起源と進化）

第13回 日本列島の地質

第14回 地球環境と資源・災害

### 【授業時間外の学習（予習・復習等）】

毎回教科書の15-20ページ分を講義で進めて行くので、必ず読んでおくこと。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a)評価方法

レポートおよび期末試験、出席率の結果を、次のように総合評価する。

出席率6割以上のものについて、評価する。

成績評価 レポート50% 期末試験50%

#### (b)評価基準

最低達成基準：講義の内容をほぼ理解していること。レポートが提出・受理されていること。試験を受験し、60点以上のもの。

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

14回で本一冊を履修するのはきついとの学生の声があるが、教職課程の理科なのでひと渡り接していることが必要と考える。したがって、履修スピードに絶えうるよう、学生は予習を充分に行い、また復習についても配付資料を中心に行い、理解を深めることが望ましい。

### 【その他】

機会があれば、国立科学博物館や地元の自然科学系の博物館を訪ねておくと、授業が親しみやすくなると思います。